

この国は、何処へゆく？

西日本新聞

2026年(令和8年)9月27日 日曜日
16版

長射程弾 日米演習投入へ

防衛省方針

熊本・大矢野原演習場で展開

防衛省が、10月に始まる駐屯地に配備された。大規模演習への展開は初めて、長射程ミサイルの実戦運用に必要な日米の連携を確認する狙いがある。

長射程ミサイル「25式地対艦誘導弾」を投入する方針を固めたことが26日、同省関係者への取材で分かった。25式は政府が「反撃能力」の名称で導入した敵基地攻撃能力の行使を担う。3月末に熊本市の陸自鹿屋

敵基地攻撃能力 他国のミサイル発射拠点などを攻撃し、自国に攻め込まれるのを防ぐ。岸田文雄政権の2022年、安全保障能力「反撃能力」の名称で保有を明記した。関連文書は、戦後の防衛政策の柱である「専守防衛」の観点から、採用しない政策を維持してきたが、防衛活動を活発化させる中国などを念頭に転換した。防衛省は、能力行使のため長射程ミサイルの配備を進める方針。陸上自衛隊は今年3月、第一弾として熊本市の健康駐屯地に「25式地対艦誘導弾」をそれぞれ配備した。海上自衛隊のイージス艦「ちようかい」は、米国で改修し、巡航ミサイル「トマホーク」の発射能力を備え、8月に長崎県の佐世保基地に帰港した。

防衛省は10月3日、健康で、地域住民対象の装備品で、展示会を初めて開く予定。当初は8月に計画していたが、熊本地震で延期していた。さらに、キーン・ソードについても説明会を設ける方向で調整している。熊本では、標的となる恐れがあるなどとして、配備に懸念の声がある。

キーン・ソードは日本への武力攻撃などを想定。自衛隊と米軍が数万人の隊員を動員し、日本国内各地や周辺の洋上、空域で、部隊を動かす実動演習に当たる。机上演習の「キーン・エッジ」と、おむね交互に実施している。

みんなで語ろう！ 平和と戦争のこと

主催：平和都市推進糸島市民会議（代表・田中道和）



二丈松末で模擬魚雷投下訓練



二丈浜程の箱島。訓練の休息中の実務訓練生



志摩久家、「瑞雲」搭乗員たちと集落の人々



昭和20年8月、志摩久家で撮影された「瑞雲」の搭乗員たち

忘れない！糸島にも戦争があった



「M69焼夷弾」により壁がなくなった菩提院(香力の製備寺境内)

福岡大空襲の誤爆？
農村を襲った「雷山空襲」

1945年6月19日に米軍の大型爆撃機B-29による福岡市への爆撃が行われました(福岡大空襲)。その時に、雷山地区への爆撃も行われ、8人の尊い命が犠牲となり、住宅24戸、倉庫13戸が全焼しました。

広報いとしま(平成30年8月1日号)より